

看護学研究所紀要第10号： 目次,投稿規定,編集後記,奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-07-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/217

武蔵野大学看護学研究所紀要

第 10 号

目 次

研究報告

子どもを亡くした(両)親の悲嘆体験への寄り添い

— Margaret Newman理論に導かれたパートナーシップの試み —

森 谷 記代子・遠 藤 恵美子 1

真の思いを語ることがないがん患者夫婦と看護師とのパートナーシップの過程

田 中 知 花・今 泉 郷 子 9

小児事例を用いた“呼吸を安楽にする援助”シミュレーション教育プログラムの評価

草 柳 浩 子・小 泉 麗 19

伊 藤 和 子・草 場 ヒフミ

“子どものレジリエンス”の概念分析

宮 崎 史 子 29

看護師のインシデント体験と仕事を継続できた理由

安 藤 幸 枝 37

総 説

日本におけるキャリア中期看護師のキャリアに関する研究の動向

大 井 千 鶴 47

資 料

看護基礎教育課程における学生の倫理的能力に関する教育の現状と課題

—2007年～2015年に発表された文献の分析—

吉 岡 詠 美 55

ヘルスプロモーション実習における看護学生の学び

小 宮 浩 美・尾 内 雅 子・那須野 順 子 65

山 本 撰 子・小 泉 麗・高 添 寿 子

小 山 千 秋・伊 藤 和 子・古 幡 みなみ

萩 野 雅・香 春 知 永・齋 藤 泰 子

その他

USA Los Angeles 医療福祉・薬学施設視察研修引率記

山 本 撰 子・菅 原 大 嗣 73

武蔵野大学看護学研究所紀要投稿規程

編集後記

武蔵野大学看護学研究所

2016

武蔵野大学看護学研究所紀要投稿規程

1. 投稿者の資格

紀要へ投稿できる筆頭著者は、武蔵野大学看護学部の教員、大学院生・学部生および卒業生とする。しかし共著論文の場合にはこの限りではない。

2. 提出期日

紀要委員会の定める期日までに提出するものとする。期限を過ぎたものに関しては、一切受理しない。

3. 掲載採否・順序

掲載論文の採否・順序については、紀要委員会が行う。投稿原稿は査読者による査読を行い、査読者の意見に基づいて紀要委員会で決定する。

4. 原稿の種類

1) 本紀要は本学の機関誌であって、本学における教育・研究領域に関する総説、原著、研究報告、資料、その他を掲載する。それぞれの内容は次のとおりである。

〈原著〉

特定のテーマにそって行われた研究で調査や観察、実験のデータに基づき、新たな知見や理解が論述されているもの。

〈研究報告〉

研究結果の意義が大きく、原著には及ばないが、内容が看護学分野の発展に寄与するもの。

〈総説〉

特定のテーマに関連した研究等を統括し、解説したものの。

〈資料〉

調査データや文献などにより得られたデータ・記録で看護学の参考になるもの。

〈その他〉

紀要委員会が特に認めたもの

2) 原稿は和文、英文のいずれでもよい。

3) 原稿は未発表のものに限る。

4) 原稿は1人1編に限る。ただし共同研究に関してはこの限りではないが、筆頭著者とはならない。

5) 原稿の種類が著者の要望と異なるものへ変更される場合がある。この場合、掲載前に紀要委員長より著者に対して通知する。

5. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、倫理委員会の審査を通過していること。また、その旨を本文中に明記すること。ただし、学部生の卒業研究に関してはこの限りではない。

6. 投稿の手続き

1) 投稿原稿は3部提出。うち、1部のみ記名し、他の2部については記名、所属などは伏せること。和文抄録、英文抄録のみをUSBに保存して提出する。

2) 最終原稿提出時には、本文を保存したUSB1本、原稿2部を提出する。USBは最終校正後返却する。

※ USB提出時の添付資料（A4用紙）

1) 著者名

2) 著者の連絡先

3) コンピューターの使用ソフト（バージョン情報を含む）および文書ファイル保存形式

7. 著者校正

著者校正は原則として1回までとする。校正時の大幅な加筆訂正は認めない。校正済みの原稿は、紀要委員会で定めた日までに必ず返却する。

8. 原稿執筆の要領

1) 和文原稿の場合はA4版横書きで、1ページ40文字×40行とし、12枚以内（図表を含む）とする。英文原稿の場合はA4版で1ページ80文字×40行とし、12枚以内（図表を含む）とする。

2) 和文原稿の場合の本文は、ひらがな、現代仮名遣いを原則とする。外国語を仮名書きする場合は、カタカナとする。数字は算用数字を使用する。英文原稿の場合は、ダブルスペースとする。

3) 図、表および写真は、図1、表1、写真1等の通し番号をつけ、本文とは別に一括し本文原稿右欄外にそれぞれの挿入希望位置を朱書きする。なお、本文にカラー写真等を掲載する場合には、別途その費用を徴収する場合がある。

4) 原稿には表紙を付し、上半分には表題、英文表題、著者名（ローマ字とも）、所属機関名、図、表および写真等の数を書き、キーワードを日本語・英語でそれぞれ5語程度記載する。正版のみ下半分に著者名と所属・肩書き（共著者含む、英文付記）、紀要委員会へ

の連絡事項及び著者（共著の場合は筆頭者）の連絡先（住所、電話、Fax、e-mail）を赤字で記載する。

- 5) 原稿には、400字程度の和文抄録（要旨）をつけること。総説、原著、研究報告には250words前後の英文抄録（Abstract）をあわせてつけること。英文抄録は用紙1枚に表題、著者名、所属、本文の順にダブルスペースで記載する。
- 6) 著者には紀要1部、別刷30部を無償で提供する。それ以上を希望する場合は、その必要部数をあらかじめ紀要委員会に申し込むこと。その場合は超過部数に係る費用は執筆者の負担とする。
- 7) 文献の記載方法はAPAstyleとする。
具体例に関しては以下に示す。

【定期刊行物】

- ・著者名、著者名（発行年）、論文タイトル。
定期刊行物の名称、xx, xxx - xxx.

【非定期刊行物】

- ・著者名（発行年）、著作物のタイトル、出版地：出版社。

【非定期刊行物の一部（書籍中にある章）】

- ・著者名（発行年）、章のタイトル、編者名、書籍のタイトル。（pp.xxx-xxx）、出版地：出版社。

【翻訳された書籍】

- ・著者名（原綴りのまま）（原書の発行年次）／訳者名（翻訳書の発行年次）、邦題（pp.xxx-xxx）、出版地：出版社。を日本語で記す。

【オンライン上の定期刊行物】

- ・著者名、著者名（発行年）、記事タイトル、定期刊行物の名称、xx, xxx。ソースから検索した月日、年号、from アドレス

9. 著作権

本紀要に投稿される論文に関する著作権は、武蔵野大学看護学研究所に帰属する。帰属の時期は原則として最終原稿が投稿された時点とする。最終原稿提出時、紀要委員会より提示される著作権譲渡同意書に著者全員が自筆署名し、論文とともに提出すること。

10. この規定の改廃は、教授会の議を経て学部長が行う。

附則

- この規定は、平成18年10月25日から施行する。
- この規定の改正は、平成21年1月28日から施行する。
- この規定の改正は、平成23年3月1日から施行する。
- この規定の改正は、平成24年4月1日から施行する。
- この規定の改正は、平成26年4月1日から施行する。

編集後記

今年度の看護学研究紀要第10号は、研究報告5編、総説1編、資料2編、その他1編の9編を掲載することができました。武蔵野大学看護学部は、10周年を迎え、大学院看護学研究科博士後期課程が完成年次となりました。学部、大学院修士、博士課程が整い、教育と研究の充実が感じられます。今後、修士課程や博士後期課程の院生の研究論文の投稿も益々期待されます。

この3月には学部の第7期生を輩出します。卒業生や大学院生との共同研究がさらに活発に行われ、看護の質的な向上へと貢献できるように、本紀要への積極的な投稿をお願いします。

ご多忙な日々を過ごしながら投稿していただいた皆様のご精励に敬意を表します。また、査読の皆様には論文内容が充実するように心温かなご指摘やご指導をいただき、心から感謝申し上げます。

今後も、看護学研究紀要のさらなる充実のために、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます

武蔵野大学看護学部紀要委員会

委員長 尾内 雅子

委員 藤尾 麻衣子

那須野 順子

高添 寿子

武蔵野大学看護学研究所紀要 第10号

2016年3月1日発行

発行 武蔵野大学看護学研究所

〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20

電話 042-468-3350(代)

印刷 株式会社 文伸

〒181-0012 東京都三鷹市上連雀1-12-17

電話 0422-60-2211



THE ANNUAL BULLETIN
OF
MUSASHINO UNIVERSITY

Institute of Nursing

No. 10

CONTENTS

Reports

- Presence with parents who have experienced a loss of child
—“Caring partnership” based on Margaret Newman’s theory of health—
..... Kiyoko MORIYA, Emiko ENDO 1
- The process of partnership between a nurse and a patient with cancer
and his spouse who are reluctant to express real feelings
..... Tomoka TANAKA, Satoko IMAIZUMI 9
- Evaluation of Educational Program Simulating “Support to Ease Breathing” with Children’s Case
..... Hiroko KUSAYANAGI, Rei KOIZUMI 19
Kazuko ITO, Hifumi KUSABA
- Children’s resilience: a concept analysis
..... Fumiko MIYAZAKI 29
- Nurse’s experiences with incidents and their reasons for having continued working
..... Yukie ANDOU 37

Review

- Literature Review: Trends in Career-Related Research on Mid-Career Nurses’ in Japan
..... Chizuru OOI 47

Research note

- Current Situations and Issues on Ethical Competence in the Basic Nursing Education
—Analysis of Literature Published Between 2007 and 2015—
..... Emi YOSHIOKA 55
- The Learning of Nursing Students in Health Promotion Practice
..... Hiromi KOMIYA, Masako ONAI, Junko NASUNO 65
Setsuko YAMAMOTO, Rei KOIZUMI, Hisako TAKASOE
Chiaki OYAMA, Kazuko ITO, Minami FURUHATA
Masa OGINO, Chie KAHARU, Yasuko SAITO

Other

- The record of the medical welfare and pharmacy facilities inspection training in U.S. Los Angeles
..... Setsuko YAMAMOTO, Taishi SUGAWARA 73

The Rules for Writing Articles

Editorial Notes

Institute of Nursing, MUSASHINO UNIVERSITY

2016